



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 栃木県真岡市自衛隊家族会部隊見学支援を実施 ～駐屯地見学を自衛隊への支援意識を高める機会に～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3陸佐）は、6月11日（火）、真岡市自衛隊家族会（会長 植木親久氏）34名（事務局含）の霞ヶ浦駐屯地（茨城県）部隊見学支援を行った。

当日は部隊見学に向かうバス車中で家族会の総会を開催し、家族会の役割や活動内容について話し合わせ、植木会長からは「今回の部隊見学の先、霞ヶ浦駐屯地には家族会員の皆様2名が勤務しています。隊員の職場環境や施設を知ることによって皆様の支援意識を高めていただく機会にしてください」との挨拶があった。

霞ヶ浦駐屯地到着後は、広報担当者より駐屯地の編成及び概要の説明があった。参加者は部隊の多岐にわたる任務内容のほか、駐屯地の広大内容のほか、駐屯地の広大な敷地内には各種倉庫や装備品などが配置され、自衛隊の活動拠点として重要な役割を果たしている駐屯地であることの理解を深めていた。続いての第302弾薬中隊では、会長挨拶でも紹介された家族会員の家族隊員2名が説明を担当。装備品の管理、使用方法、訓練内容などを分かりやすく説明し、参加者たちが興味深く聞き入っている様子が見られた。見学終了後、参加者からは「普段は見ることができない自衛隊の設備や装備品を間近で見ることができました。駐屯地の規模や装備品の充実度に驚き、自衛隊の存在感を改めて感じました」「参加者の家族隊員が一生懸命に説明される姿から、隊員の皆さんの仕事に対する情熱や献身的に取り組む姿勢が伝わりました」等の感想があった。

真岡募集案内所は「自衛隊の基地・駐屯地見学は、家族会活動の重要な活動の一環であり、今回は部隊の協力により家族隊員と直接触れ合う機会が得られたことに感謝している。今後、家族会が自衛隊の活動を知ることによって家族の絆を深めるだけでなく、自衛隊に対する理解や支援意識を高めることができるよう積極的に支援していく」としている。



## 栃木県立足利工業高等学校インターンシップ支援



自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は、6月25日（火）～6月28日（金）の間、栃木県立足利工業高等学校の2学年のインターンシップを支援した。

初日は宇都宮駐屯地、2日目は北宇都宮駐屯地、3日目は足利地域事務所、4日目は陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）で実施され、ロープワーク、基礎教練及び喫食体験などさまざまな体験を行い自衛隊の仕事に触れ合う時間となった。4日目のりっくんランドでは、レンジャー隊員の話聞いた生徒から「すごいなあ、やりがいがありそう」という声があり、特に偵察用オートバイに興味を引かれたように、「かっこいい！自衛隊に興味をもちました」などと話す姿が見られた。

足利地域事務所は「今後も、学校と引き続き連携し、若者目線で自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

## 佐野日本大学短期大学で募集広報 ～未来を担う若者に自衛隊の魅力を発信！～



自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は6月26日（水）、佐野日本大学短期大学の中庭にて自衛官募集に関するポケットティッシュの配布を実施した。

当日は風もなく、夏の日差しを感じられる非常に良い天気となった。昼休みの時間帯に約200名の学生に配布を行い、「なぜ自衛隊が学内に？」「自衛隊ってかっこいいですよね！」と事務所員と楽しく話す学生で賑わいをみせ、多くの学生に自衛隊をアピールする事ができた。